

「医学生における競争的学習環境と Well-being やモチベーションの関係性について」  
の調査への参加に関する説明文書

【研究責任者】

研究機関名：秋田大学医学系研究科

所属：先進デジタル医学・医学教育学講座

職名：特任教授

氏名：及川 沙耶佳

作成日 2024年4月13日 第1.0版

## はじめに

この説明文書は「医学生における競争的学習環境と Well-being やモチベーションの関係性について」の調査の内容について説明したものです。この研究についてご理解・ご賛同いただける場合は、研究の対象者として研究にご参加くださいますようお願い申し上げます。この研究に参加されなくても不利益を受けることは一切ありません。不明な点は担当者にお尋ねください。

### 1. 当該研究の実施について研究機関の長の許可を受けていることについて

この研究の内容は、研究に参加される方の権利を守るため、研究を実施することの適否について以下に示す倫理審査委員会にて審査され、承認・実施許可された後に研究を開始することになっています。今回の研究につきましても、既にその審議を受け、承認を得ています。また、研究機関の長の許可を得ています。

#### <倫理審査委員会>

- (1) 名称：秋田大学大学院医学系研究科・医学部倫理委員会
- (2) 設置者の名称：秋田大学大学院医学系研究科長
- (3) 所在地：秋田県秋田市本道1丁目1番1号
- (4) 調査・審議の内容：研究計画書の科学的・倫理的側面からの審査、研究継続時の審査

### 2. 研究の実施体制（研究機関の名称、研究責任者氏名等）について

#### 【研究責任者】

研究機関名：秋田大学医学系研究科  
所属：先進デジタル医学・医学教育学講座  
職名：特任教授  
氏名：及川 沙耶佳

#### 【秋田大学医学系研究科における個人情報管理者】

個人情報管理者：秋田大学医学系研究科 先進デジタル医学・医学教育学講座  
特任教授 及川 沙耶佳

#### 【研究協力機関】

機関名： Mahatma Gandhi Medical College and Research Centre  
研究協力者氏名： Dinker Pai  
職名： Director of Medical Simulation Centre and Professor of surgery

機関名： Aarupadai Veedu Medical College  
研究協力者氏名： Mahalakshmi Venkatesan Natrajan

職名： Dean health professions education

### 3. 研究の目的・意義・背景について

医学部入試の倍率は他学部と比べ高いことが知られています。また、入学後も留年や国家試験浪人など、医師になるまでいくつかのハードルがあります。

日本の医学部入試の倍率は令和5年の統計では約8倍、留年率は学年によって差はありますが、大体3～6%であると言われていています<sup>1)</sup>。また、令和4年度のデータでは研修医マッチングの募集定員が10844名のところ、参加者数は10207名であり、ほぼすべての研修医が自国で研修を行うことができる状況となっています。

一方で、人口増加が著しいインドでは医学部入試の倍率は約20倍と言われており、毎年約9万人の医学生が医学部に入学していますが、各学年で1万人程度の留年者が出ているとされています（留年率10～12%）。また、毎年約13万人の医学生が卒業していますが、インド国内の研修医募集人数は4万2千人程度と言われており、入学、進級、卒後の研修ポジション争奪というタイミングにおいて、非常にcompetitiveな状況となっています<sup>2)</sup>。そのため、一度不合格となった際は、所謂“droppers”として再受験までに年単位の準備期間を過ごすことが強いられ、経済的に豊かではない学生にとっては、医師になる際の大きなハードルとなっています。

昨今、医学生のWell-beingに対する注目が高まる中、医学生の学習環境における競争が著しい文化圏における先行研究は少なく<sup>3)</sup>、競争的な学習環境が医学生のWell-beingやモチベーションとどのような関係性を持つか、という点について明らかにすることは意義があります。本研究はこの点に着目し、インドと日本の医学生に対してアンケートを行い、競争的な学習環境がWell-beingやモチベーションに与える影響を明らかにする調査研究です。

この研究で明らかにする内容は、将来の世界の医学生のWell-beingを考える際に教員が持ち合わせる視座について重要な内容となる可能性があり、また、この点を明らかにすることで、インドや日本のみならず、多くのに対しても貴重な視座を与える可能性があり、医学教育研究として意義があると考えられます。

### 4. 研究の方法及び期間について

#### 4-1) 方法

研究方法の概要としては、インドの医学校(Mahatma Gandhi Medical College and Research CentreとAarupadai Veedu Medical College)に在籍する1年次から5年次までの医学生と秋田大学に在籍する1年次から6年次までの医学生に関するデータを収集する調査研究です。研究デザインは、秋田大学がデータ収集や分析を行い、Mahatma Gandhi Medical College and Research CentreとAarupadai Veedu Medical Collegeが協力機関として参加する前向き研究です。

#### 4-2) 研究期間

この研究は研究機関の許可日から2025年03月31日の期間で実施されます。

#### **4-3) この研究を中止させていただく場合があること**

研究対象者の組み入れが困難で、予定被検者数に達することが極めて困難であると判断された際には、この研究を中止させていただく場合があります。

#### **5. 研究対象者として選定された理由について**

この研究はインドの医学校（Mahatma Gandhi Medical College and Research Centre と Aarupadai Veedu Medical College）に在籍する1年次から5年次までの医学生各200名、計400名と秋田大学に在籍する1年次から6年次までの医学生200名を対象として実施される研究です。あなたが選定された理由は上記大学に在籍し、医学部医学科の学生であるという理由です。アンケートの内容が医学生の Well-being やモチベーションに関するものであり、学生の社会的・経済的背景にも影響を受ける可能性があることや、本研究立案の際に参考にした先行文献で秋田大学の医学生を対象としたメンタルヘルス関連の論文があり（Nomura et al, 2022）、本学学生がアンケート調査研究に一定の経験値があることも皆さんを選定させていただいた理由となります。また、回収率を上げて確実に調査研究を行うことができるよう、研究者が複数回のリマインドを行う可能性なども加味して秋田大学在籍する学生を選定させていただきました。

#### **6. 研究に参加することにより生じる負担並びに予測されるリスク及び利益について**

本研究ではメールアドレスを回収しますが、その使用目的はアンケート回答後に参加者が研究への参加の撤回を申し出た場合に限りです。また、質問内容は研究対象者の方に負担やリスクが生じることは考えにくい内容であると判断しています。

#### **7. 研究への参加に同意しないことによって不利益な扱いを受けないことについて**

この研究への参加は自由意志に基づきます。たとえこの研究への参加を同意されなくとも、不利益が生じることはありません。

#### **8. 研究への参加に同意した場合でも随時これを撤回できることについて**

一度参加に同意された場合でも、自由意志でいつでもそれを撤回できます。それによって不利な扱いを受けることはありません。不参加によって成績評価で不利益を受けたり、参加によって成績評価で利益を受けることはありません。

#### **9. 研究に関する情報公開の方法について**

本研究は、公開が必要な内容には該当しないため、厚生労働省が設置している公開データベース（jRCT）に登録しません。また、本研究で得られた結果は、学会で発表し、医学教育学領域の専門学術誌で論文として公表する予定です。いずれの場合においても公表する結果は統計的な処理を行ったもののみとします。

#### **10. 研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手または閲覧の方法について**

この研究に関して、研究計画や関係する資料をお知りになりたい場合は、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手または閲覧することができますので、お申し出ください。

### **1 1. 個人情報の取扱いについて**

本研究に係わるすべての研究者は、「ヘルシンキ宣言」および「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」を遵守して実施します。

研究実施に係る情報を取扱う際は、研究独自の番号を付して管理し、研究対象者の秘密保護に十分配慮します。本研究は研究対象者を特定できる研究ではありますが、研究の目的以外に、研究で得られた研究対象者の情報を使用することはありません。メールアドレスを回収するため、対照表を Google forms のスプレッドシートを用いて作成し、分析の際は仮名加工情報にしたものを用います。

### **1 2. 試料・情報の保管及び廃棄の方法について**

本研究で収集した情報は、「秋田大学大学院医学系研究科・医学部試料および情報等の保管に関する標準業務手順書」に基づき、研究の中止または研究終了後 3 年が経過した日までの間、施錠可能な場所（先進デジタル医学・医療教育学講座研究室）で保存し、その後は、情報はコンピュータから専用ソフトを用いて完全抹消します。

### **1 3. 研究で得られた試料・情報を将来の研究に用いる可能性について**

本研究で得られた情報を他の研究に用いる可能性はありません。

### **1 4. 研究資金及び利益相反について**

本研究は、研究責任者が所属する講座の運営費交付金で実施します。また利益相反はなく、その点を利益相反マネジメント委員会に申告します。

### **1 5. 研究により得られた結果等の取扱いについて**

本研究で行う解析の結果はあくまでも研究として行い、原則、本研究に参加した本人に解析の結果は説明しないこととします。

### **1 6. 研究に関する相談への対応について**

この研究に対し、わからないことがあれば下記の研究責任者までお尋ね下さい。

連絡先電話：018-801-7182、秋田大学医学部科内

研究責任者： 秋田大学大学院医学系研究科 先進デジタル医学・医療教育学講座 特任教授 及川沙耶佳

### **1 7. 経済的負担及び謝礼について**

この研究に参加することによる経済的負担はありません。また、研究に参加していただいても、謝礼はございません。何卒ご了承ください。

#### 18. 参考資料・文献リスト

- (1) 全国医学部長病院長会議 定例記者会見資料 医学生の学力に関するアンケート調査結果 2017年3月16日 (<https://ajmc.jp/news/2017/03/16/564/>)
- (2) Faique R, et al (2024). Financial barriers and inequity in medical education in India: challenges to training a diverse and representative healthcare workforce, *Medical Education Online*, 29:1, 2302232, DOI: 10.1080/10872981.2024.2302232
- (3) Yusoff, M. S, et al. (2013). Psychometric properties of the Medical Student Well-Being Index among medical students in a Malaysian medical school. *Asian journal of psychiatry*, 6(1), 60–65. <https://doi.org/10.1016/j.ajp.2012.09.001>
- (4) Nomura K, Yamazaki T, Maeda E, Hirayama J, Ono K, Fushimi M, Mishima K, Yamamoto F. Longitudinal survey of depressive symptoms among university students during the COVID-19 pandemic in Japan. *Frontiers in psychology*. 2022 Aug 25;13:863300.